

リーグ改革について

現在、1部4校リーグ（グローバルアリーナ）、2部から4部の4校リーグ、5部トーナメント形式で行っていますが、2021年度よりリーグのさらなる活性に向けてこれから改革をしていこうと考えています。ただし、2020年度九州学生リーグは基本現行のまま行います。

【提案理由】

- ・ 少子化に伴い、現行の女子4部リーグが2年連続（2大学）、女子5部トーナメント（4大学）開催となっているから。
- ・ 新設大学及び新設テニス部の上位リーグ昇格機会を増やすため。

提案1

現行) リーグ5部制

男子・女子1部リーグ：4大学
男子・女子2部リーグ：4大学
男子・女子3部リーグ：4大学
男子・女子4部リーグ：4大学
男子・女子5部トーナメント



提案) リーグ3部制

男子・女子1部リーグ：6大学
男子・女子2部リーグ：6大学
※現行1部～3部リーグを2部リーグ制へ
男子・女子3部トーナメント
※現行4～5部を3部トーナメントへ
※男子3部トーナメント：13大学
※女子3部トーナメント：6大学

入れ替え戦4対戦

男子・女子入れ替え戦1部—2部
男子・女子入れ替え戦2部—3部
男子・女子入れ替え戦3部—4部
男子・女子入れ替え戦4部—5部



入れ替え戦

男子・女子入れ替え戦1部—2部
男子・女子入れ替え戦2部—3部
※2対戦減へ

・メリット

現行の5部制度では新設テニス部が4年目で最高でも2部までしか昇格できないが、3部制にすることで新設テニス部でも4年間で1部まで昇格することができる。

運営の簡素化による九州学生テニス連盟の人的・経費負担の軽減化

・デメリット

4校リーグだったものが6校になることで大会日数が1日増える。

コート面数が必要となる。

提案2

○男子・女子1部、2部、3部⇒現行通り4校リーグ（1部はグローバルアリーナ）

○男子・女子4部、5部⇒合体させて4部トーナメント

・メリット

大会日数は変わらない。

大学数が増え、リーグ活性化

・デメリット

試合数が減る大学が出てくる。

昨年と同様1部は空き日ができて不平等になる。

提案3

○男子・女子1部、2部、3部⇒現行通り4校リーグ（1部は鹿児島県立鴨池庭球場）

○男子・女子4部、5部⇒合体させて4部トーナメント

・メリット

1部は16面展開となり大会日数が減る。

・デメリット

1部2部入れ替え戦のために2部優勝校の移動が大変になる。